

2026

— 株式会社サンプル工業 様向け | 全社のAI活用を、資格で底上げする

# 30名で始める、AIリテラシー研修のご提案

生成AIパスポート（GUGA）対応のeラーニング研修を、助成金を活用して。  
受講対象30名・実質負担を抑えた導入プランをご提案します。

AIリテラシー研修のご提案 | Rev. 2026.07

株式会社KIZASHI

## お伺いした **3つの課題** から出発します

お打ち合わせでお伺いした現状を整理しました。認識に相違があればご指摘ください。

### 課題 01

#### AI利用が個人任せで ルールがない

一部の社員が個人判断で生成AIを使い始めており、会社としての利用ルール・教育が追いついていない。

放置リスク：機密情報の入力など、情報漏えい事故につながる

### 課題 02

#### 定型業務に時間が 取られている

見積書・報告書・メール対応など、営業・総務の定型業務に多くの時間がかかり、本来注力したい提案活動や改善業務を圧迫している。

放置リスク：残業の常態化・生産性の頭打ち

### 課題 03

#### 何から学ばせるか 決め手がない

社員教育の必要性は感じているが、部署ごとにレベルがばらばらで、全員共通で学ばせる内容と順番の決め手がない。

放置リスク：自己流の活用が広がり、差が開き続ける

✓ まず対象30名の共通リテラシーを、資格取得とセットで底上げすることをご提案します

## 資格で身につく、AIリテラシー研修

生成AIパスポート（一般社団法人生成AI活用普及協会：GUGA）に対応したeラーニング研修です。

対象：30名（営業・総務・製造管理）

### AIリテラシー研修

生成AIパスポート対応eラーニング

約13.5時間

eラーニング学習時間

2ヶ月

受講期間

資格取得

生成AIパスポート受験

業務両立

すきま時間で受講可能

1

#### 基礎知識の習得

生成AIの仕組み・できること・注意点を、動画教材で体系的に学びます。

2

#### リスク・ルールの理解

情報漏えい・著作権などのリスクと、業務で使うためのルールを学びます。

3

#### 業務での活用方法

文書作成・情報整理など、日常業務での具体的な使い方を身につけます。

4

#### 生成AIパスポート受験

学んだ内容を資格として形に。可否と学習状況は貴社に共有します。



受講の進捗はKIZASHIが管理し、遅れている方へのフォローまで行います

## 助成金で、実質負担は4分の1に

人材開発支援助成金「事業展開等リスクリング支援コース」を活用します（中小企業：経費助成75%）。



### いつでも申請できます

公募期間の縛りがなく、研修開始に合わせて申請できます。



### 企業規模を問わず使えます

中小企業だけでなく大企業も対象です（助成率は異なります）。



### 不採択がありません

コンペ型の補助金と違い、要件を満たせば所定額を受給できます。

1名あたりの試算（税込・中小企業の場合）

研修費（定価）

110,000円

経費助成（75%）

▲82,500円

実質負担 **27,500** 円／名

※eラーニング型の経費助成上限は15万円／名のため、全額が助成率どおり対象になります。  
※受給には要件充足が前提です。賃金助成の適用は研修形式により異なるため、お打ち合わせでご案内します。



計画届・支給申請は社労士事務所をご紹介します。貴社のご担当は書類のご準備のみです

# 30名で、実質 825,000円 の導入プラン

金額はすべて税込です。助成金の受給を反映した実質負担をご覧ください。

| 項目             | 内訳                     | 金額（税込）      |
|----------------|------------------------|-------------|
| AIリテラシー研修 受講費  | 110,000円 × 30名         | 3,300,000円  |
| 経費助成（中小企業 75%） | 82,500円 × 30名          | ▲2,475,000円 |
| 実質ご負担額         | 27,500円 × 30名          | 825,000円    |
| 社労士費用（ご希望時・別途） | 1人目11,000円＋2人目以降5,500円 | 170,500円    |

実質負担のイメージ

82.5万円

定価330万円 → 助成金活用後（30名・税込）

27,500円／名  
1名あたりの実質負担

お支払い  
研修費は研修時にお支払い、  
助成金は後日受給

💡 受給には要件充足が前提です。貴社の状況に合わせた正式なお見積りを別途ご提示します

# 契約から受給まで、この流れで進みます

助成金は「計画届 → 研修 → 支給申請 → 受給」の順です。計画届は研修開始の1か月以上前に提出します。

| 関係者      | 1ヶ月目     | 2      | 3         | 4 | 5    | 6                  | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----------|----------|--------|-----------|---|------|--------------------|---|---|---|----|----|----|
| 貴社（受講企業） | ご契約・書類準備 |        | 研修受講（2ヶ月） |   |      |                    |   |   |   |    |    |    |
| KIZASHI  | 申請準備支援   |        | 受講進捗フォロー  |   |      |                    |   |   |   |    |    |    |
| 社労士      |          | 計画届の提出 |           |   | 支給申請 | 審査（3～9か月）→ 受給決定・着金 |   |   |   |    |    |    |

※研修費のお支払いは研修時（先払い）です。受給決定通知から約1か月で着金し、申請から受給までは最大15か月が目安です。



最短では、ご契約の翌々月に研修を開始できます

## 貴社のご負担は、書類のご準備だけ

研修の運営も、助成金の手続きも、それぞれの専門家が分担します。

### K KIZASHI

- ・ 研修の提供・受講登録
- ・ 受講進捗の管理・フォロー
- ・ 申請書類の準備サポート
- ・ 導入後の活用相談

GUGA公認／プライバシーマーク・ISO/IEC 27001  
取得

### 社 社労士事務所

- ・ 計画届の提出
- ・ 支給申請の手続き
- ・ 行政とのやり取り・照会対応
- ・ 受給までの期日管理

助成金の申請手続きは社労士の独占業務のため、実績ある事務所をご紹介します

### 貴 サンプル工業様

- ・ 受講者名簿など書類のご準備
- ・ 受講時間の確保
- ・ 社内への受講案内  
(案内文はKIZASHIがご用意)

社内の面倒な手続き設計は不要です。必要書類はリストでご案内します



研修も申請も、途中で貴社が迷わない体制でご一緒します

## まずは **受講対象の確定** から始めましょう

ご発注前でも、対象者リストを頂ければ助成金の正式な試算をご提示できます。

### STEP 1

#### 受講対象者の確定

30名の名簿をご共有ください。雇用保険の加入状況など、助成対象かを確認します。

### STEP 2

#### 正式お見積り・ご契約

確定した人数で正式なお見積りをご提示し、ご契約に進みます。

### STEP 3

#### 計画届の提出・受講開始

社労士のご紹介と計画届の提出を経て、最短でご契約の翌々月に受講を開始します。

本資料はデモ用のサンプルです。  
実際のご提案は、貴社の状況に合わせて作成します。

お問い合わせ（株式会社KIZASHI）

[ai\\_learning@kizashi-co.jp](mailto:ai_learning@kizashi-co.jp)